

事業	事業項目	内容	担当	月													収入予算	支出予算	備考（活用予定の補助金等）	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
人財育成事業		新入社員から中堅社員まで一貫した教育によって生産性の高いエンジニアを養成するとともに、産学連携による教育カリキュラムによって先進技術を活用できる高度IT人材を育成する	⋮																	
	新入社員研修	新入社員向け研修 （認定職業訓練） （I-3-3.2-(1)）	各社のニーズをもとに新入社員の個人の技術力・理解度を高める内容に技術系コースの再編を行ったうえで、「認定職業訓練」として実施する。 [テーマ] ①ビジネス基礎養成 4月4日(月)～4月13日(水) ②システム開発技術者育成 4月14日(木)～6月2日(木) ③業務システム開発プロジェクト演習 6月3日(金)～6月23日(木) ④フォローアップ研修 8月30日(火)～8月31日(水)	人財育成(委)		実施①②③			実施④									23,108千円 〔受講料〕	21,844千円 〔講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費〕	特記事項: ・認定職業訓練事業 ・受益者負担 ・①②はオンライン形式、③④は集合形式を予定 ・③④はコロナ感染症の予防措置によりオンライン形式も想定 ・集合形式会場:仙台市中小企業活性化センター セミナールーム (仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6階) ・定員 ①②③各50名、④40名
		ステップアップ研修 （I-3-3.2-(1)）	新入社員研修後の継続的な教育サポートによって技術・知識の定着を図るステップアップ研修を実施する。(1テーマ予定) また、先進技術を用いた実践的研修で高度ITエンジニアを育成する。 前年度テーマ Node.js集中講座 Java SE8新機能	人財育成(委)						準備				○実施				600千円 〔受講料〕	1,200千円 〔講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費〕	特記事項: ・受益者負担 ・仙台市中小企業活性化センター セミナールーム (仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6階) ・定員12名/コース ・コロナ感染症の予防措置によりオンライン形式も想定
	リーダー研修	中堅社員向け研修 （I-3-3.2-(2)）	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネジメント力の向上等に関わる実践的研修を実施する。(2日×3コース) 前年度テーマ ①プロジェクトマネジメント研修【初級】 ②アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修 ③SEのためのチームマネジメント研修	人財育成(委)			準備			○実施(1)				準備	○実施(2)			1,435千円 〔受講料〕	2,064千円 〔講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費〕	特記事項: ・受益者負担 ・仙台市中小企業活性化センター セミナールーム (仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6階) ・定員15名/コース ・コロナ感染症の予防措置によりオンライン形式も想定
		次世代研修 （I-3-3.2-(3)）	トップリーダーの講演を通して、次世代に求められるスキルや考え方を学ぶ。(1日×2回コース)	人財育成(委)			準備			○実施(1)				準備	○実施(2)				240千円 〔講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費〕	特記事項: 講師料が計画以上の場合は受益者負担も検討する 研修講義+集合ワーク形式から講演中心の内容に見直し。
		技術紹介 （I-3-3.2-(4)）	先進技術(AI・データアナリティクス、IoT、ブロックチェーンや情報セキュリティなど)や話題のエンジニアの講義・講演等による技術紹介を実施する。 前年度テーマ ①今こそ知っておきたいDX 地方・中小企業での実践事例 ②AWSの基本が1日で学べる超入門講座	人財育成(委)			準備			○実施(1)				準備	○実施(2)			400千円 〔受講料〕	600千円 〔講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費〕	・受益者負担とする。 ・外部連携など、無料の研修も検討する
外部連携	外部連携スキーム検討 （I-3-3.2-(5)）	技術革新のスピードが速く社会人が業務上必要な知識や技術をアップデートする新たな研修スキームを検討する。 ①教育機関等と連携した研修スキームの検討 ②関連業界と連携した研修スキームの検討 ③技術者が集まったり先進技術を扱えるコミュニティの検討	人財育成(委)		○		○		○		○		○		○				※キーワード 先進技術、教育格差、リカレント教育	

(注)1.事業項目欄の()内は事業計画本文の項目Noを示す。